

# 株式会社 全国商店街支援センター

## 平成27年度 商人塾支援事業

(事業報告書概要版)

実施機関:株式会社都市問題経営研究所(大阪府大阪市)

参加商店街:天神橋三丁目商店街振興組合 天神橋筋四番街商店街振興組合 天神橋筋四丁目北商店街振興組合 天神橋筋五丁目商店街振興組合 天六商店街振興組合 天満南街商店会 天五中央商店会

コーディネーター:大島憲明(株式会社都市問題経営研究所)

### 大阪北区天神橋筋商店街の活性化に向け 自身で何が出来るかを考える

次世代を担うリーダーとなっていくために学ぶ

地域の置かれた状況、取り巻く環境を学び、商店街発展の方向性を探る

その発展方向に沿って自身の個店をどうやって発展させていくのかを考える



## カリキュラム

第1回

大阪の商業－キタの商業の現状と商店街のあり方  
石原武政 流通科学大学商学部 特別教授

第2回

国の商業政策とリーダーの役割  
桑島 俊彦 烏山駅前通り商店街振興組合理事長

第3回

商店街活性化、再開発へのリーダーシップ  
古川 康造 高松丸亀町商店街振興組合理事長

第4回

商店街の組織化と商店街活動へのリーダーシップ  
上田 照雄 京都三条会商店街振興組合理事長

第5回

まちゼミと個店の取り組み  
松井 洋一郎 岡崎まちゼミの会代表

第6回

個店のインバウンド対策と商店街の対策  
山本 善規 黒門市場商店街振興組合理事長

第7回

天神橋地域の課題と活性化の方向  
大島憲明 株式会社都市問題経営研究所代表取締役

第8回

商店街活動への参加と自店の取組み  
(意見交換、卒塾論文)

第9回

卒塾論文の発表と総括  
修了式

## 想い

(なぜ、商人塾を実施しようとおもいましたか?)

天神橋筋商店街やキタの商店街とは以前から関係があったが、前年度、黒門市場をはじめ大阪ミナミの商店街の参加で商人塾を開催し、インバウンド対策への成果や若手を中心に商店街の枠を越えた連携の動きが始まるなど、大きな成果が得られたことから、大阪キタの代表的な商店街である天神橋地域でも同様の成果が得られる、と考えたから。

天神橋筋商店街は、「キタ」の商業地では最も早く開けた地域で、天下の台所(天満市場)といわれた歴史のある商業地であり、全長2kmにわたる日本一長い商店街が形成されている。大阪天満宮の門前町としての性格とJRや地下鉄駅の駅前地区としての性格を併せもつ大阪を代表する商店街である。

一方で、大阪駅・梅田周辺の巨大開発により相対的な商業地盤低下が見られ、巨大開発エリアへの来街者の天神橋エリアへの回遊性への期待があるほか、商店街の業種の変化(飲食店の増加)、インバウンド、後継者不足、リーダーの育成等々、ミナミの商店街と共通の課題をもっている。商人塾がこうした問題に若手商人が中心になって取り組む契機になることを期待した。

## ねらい

(どういうポイントで塾をすすめましたか?)

※現地調査がある場合はそのねらい・写真も入れてください

全国的な視点と地域、足元を見つめる両方の視点で商店街活動に取り組む資質や方法、地域のリーダーとしての考え方を修得してもらうことをポイントとして以下の研修を行った。

- ①塾生の自主性の尊重—全国の商店街の事例、情報を研修しながら、自分の商店街の課題、方向性を自ら考え、実現、具体化に向けた自らの関わり方を考えて研修。
- ②空き家対策や業種構成、都心居住など将来の商店街の本格的整備に備えて、リノベーションの連続による街の整備を意識して研修。
- ③現地調査では「まちゼミ」の発祥の地岡崎を視察、全国200カ所以上に広がったまちゼミの考え方や具体的な仕組み方法、効果について研修。



## コーディネーターから

(できたこと・できなかったこと)



- ・現在の商店街活性化に関する最高の講師陣を迎えることができ、全国的な最先端の情報、視点を伝えることができた。
- ・有数のリーダーたちの資質に直接触れられ、リーダーの役割について実感することができた。また交流を図ることができ、人脈の形成にもつながった。
- ・若手経営者に集まっていたいただき、商店街の枠を越えた交流を、図ることができ、研修の中で学んだスタンプ事業に共同で取り組む機運が生まれた。
- ・近畿経済産業局や大阪商工会議所の商業担当者に多数オブザーバー参加いただき、行政関係者との交流ができたほか、天神地域の課題や取り組みについて情報提供することができた。
- ・塾生登録が17名に対して、修了証をうけた塾生が11名に留まった。

## 今後に向けて

(商人塾を受けて変わったこと・起きたことは？)

商人塾の成果を今後どのように活かしていきますか？)

- ①「スタンプ事業」を始めたいとの意向があり、具体的に進めるためのアドバイザー派遣に取り組む。
- ②商人塾を契機に繁盛店づくり研修への関心が生まれたため、研修の実施について検討を行う。
- ③「まちゼミ」に取り組みたい意向が複数見られるため、支援センターの研修への参加について検討する。
- ④上記の取り組みや天神橋地域活性化に寄与できる活動を継続する。

## 佐藤暢大(卒塾生代表)

(商人塾で得たことは？)



- ・チェーン店等の増加で個性のある商店街の魅力が失われている現状を考え、現在営業している個店を存続していきながら活性化していく方法を学びました。
- ・小さいお店を守るのは、個店自身の取り組みと商店街全体の事業の連携が必要だと感じました。
- ・参加店を集めてスタンプ事業に取り組み、お客さんのリピートに繋げていきたい。